

うぐいす

TAKE FREE
ご自由にお持ちください



平成30年7月28日（土）に行われた、「第46回千厩夏まつり」に当院も参加いたしました。出陣前の浴衣「男性陣」です。普段の仕事姿も素敵ですが、いつもと違って、とても粋な感じで新鮮です。「千厩病院・伊達男衆」と呼んでいいのでしょうか・・・

また、参加した職員の感想が6ページに掲載されております。お楽しみに！

本誌の内容

- | | |
|--|-----------------|
| 1 P 表紙 | 4 P 救急の日 |
| 2 P 地域医療懇談会
トピックス1（小羊幼稚園慰問など） | 5 P 救急看護認定看護師紹介 |
| 3 P 総看護師長より（ご挨拶）
トピックス2（磐井病院研修医との交流会など） | 6 P 千厩夏祭りに参加して |



平成30年度 地域医療懇談会 平成30年6月27日（水）



平成30年度地域医療懇談会は、一関市役所千厩支所を会場に開催されました。地域住民をはじめ、医療関係者、行政、介護関係者など42名が参加しました。

はじめに宗像秀樹院長より「今の千厩病院は」と題し、東磐井地域の医療の砦としての千厩病院の役割、地域包括ケアシステムの歯車的一端として介護事業所、開業医、地域住民とのつながりの大切さなどについて講演を行いました。続いて小原眞副院長から短期の入院で手術せずに注射で治せる「いぼ痔」の治療について、樽本医師から昨年度から診療を開始した血液内科の診療内容について、浅沼文枝栄養管理科次長から「病院給食の現状」を主題に栄養管理科の業務内容について、最後に村上海織医事経営課長から入退院支援の取り組みについて発表が行われました。

診察室以外の場所で話す先生方やスタッフのお話、「先生方がフレンドリーだった」、「自分たちにできることはないか考えさせられた」など、感謝や激励のお言葉をいただきました。より身近に千厩病院を感じていただいた様子を実感することができました。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、開催時間の変更について大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

地域医療福祉連携室



トピックス 1

ふれあい看護体験

「看護の日」の平成30年5月11日（金）、当院で高校生を対象に「ふれあい看護体験」が行われました。千厩高等学校・花泉高等学校の2校の2・3年生計8人の参加がありました。

当院看護師の講話、グループごとに分かれて手洗いの実践、入院患者さんのケアなどを体験しました。当院では看護体験・職場体験等、中・高生の受入れを今年度4回予定しております。皆さんの医療の職につきたいという夢の実現に向けお手伝していきたいと思っております。



小羊幼稚園慰問

6月の第2日曜日はキリスト教の「花の日」とされており、毎年、千厩小羊幼稚園の皆さんが当院に慰問のため訪れます。今年も6月12日（火）に園児・職員の皆さんが当院を訪問してくださいました。入院患者さんや職員を前に、元気に歌やお遊戯を披露した後、元気な声で自己紹介などがありました。その後、各家庭から持ち寄った花を患者さんにプレゼントしていただきました。花を受け取った患者さんや職員は満面の笑顔になり、園児たちと和やかなひと時を過ごしました。





地域に必要とされる看護を

千厩病院 総看護師長 菊池 由美

4月に赴任いたしました新任総看護師長の菊池由美です。初めての土地、初めての病院と何もかも初めてづくしでしたが、院長初め職員の皆さんやボランティアの皆さん、地域の方々からご指導ご支援を頂き、温かさに包まれながら元気に過ごしております。本当にありがとうございます。

今年度の千厩病院の運営方針のキーワードは「誇り」です。地域の医療を守る役割に誇りを持ち、安全で質の高い医療を目指します。日本は今、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療や介護、住まい、生活などを包括的に支援するということを進めています。

私達看護師も、今までのように病院の中だけではなく積極的に外へ出て、より地域の皆さんの力になりたいと考えています。退院前に自宅に伺い、転倒防止の手すり等を「患者さん、ご家族の方と一緒に確認」をしたり、また、退院後、自宅を訪問し「患者さん、家族の方に指導や相談」を行うなどを、積極的に行い病気療養中であっても、安心して自宅で過ごせるよう在宅療養支援に力を入れていきます。

地域の皆さんの笑顔が、「ありがとう」の言葉が、私達のエネルギーです。「千厩病院があって良かった」と思って頂けるよう、この地域に必要とされる看護を提供する組織作りに力を尽くします。どうぞよろしく願いいたします。

トピックス 2

東磐井盆栽展

6月5日(火)から7日(木)まで、東磐井盆栽会の皆さんによる、丹精込めて育てた盆栽の展示会が今年の中庭で開催されました。

平成9年から毎年、サツキなどが咲き揃うこの時期に開催しており、診察にいらした患者さんや職員が、思わず見入ってしまう見事な作品の数々に感激していました。



磐井病院研修医との交流会

6月25日(月)に、磐井病院横沢聡医療研修科長と研修医8名が当院を訪問し、今年度初の試みとして当院医師と地域医療研修で研修中の県立中央病院・国際医療研究センター・東京医療センターの研修医との交流会が行われました。

まず当院の小原真副院長より千厩病院のドクターの実情を中心にオリエンテーションがあり、続いて宗像秀樹院長より千厩病院を地域医療研修施設として是非選択して欲しい等の要望がありました。それから当院医師、研修医と昼食を共にしながら交流を深めました。



救急の日



【救急外来の受診状況】

当院は、旧東磐井圏域を中心に救急対応を担っております。休日・時間外においては、医師1名・看護師1～2名で対応しております（検査等は呼び出し体制）。そのため患者さんが集中すると重症な方を優先し、その順番で診察を行わざるを得ない状況となっております。

昨年度の時間外受診者は、**3,482名**でその内救急車での来院は、648名でした。
1日に換算すると毎日**9名以上**（救急車での来院も2名近く）受け入れております。

通常、当直医師は引き続き日中の勤務にあたっていることなどから、医師業務負担が過重になっています。適正な救急受診に住民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ご協力をお願いする点といたしましては、

- ① 一週間位前から同じ症状（状態）が続いており不安な場合
- ② 週休日・休日にお薬がなくなりそうな場合
- ③ お仕事の都合等による時間外受診

などの場合は、ぜひ **診療時間内の受診** をお願いいたします。

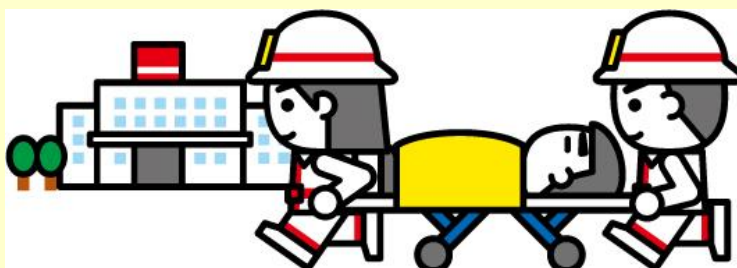
※ 時間外の診療は、緊急に施す応急的な処置となります。（医療費も割高です！）

【一関消防署における救急車出動の状況】

昨年1年間に一関消防署全体での救急車出動件数は、なんと**6,035件**にのぼり毎日**16件**も出動している計算になります。

※ これとは別に火災・救助の出動も年126件行われております。

市民の命を守るために、日々頑張ってくださいありがとうございます。（ご協力に感謝いたします。）



救急診療委員会

2018年現在で岩手県では救急看護認定看護師が13名、県立病院には7名が勤務しています。今年度、当院に救急看護認定看護師が赴任しましたのでご紹介します。

職員紹介

救急看護認定看護師の紹介



旧一関市東磐井郡の市民の皆さん。
はじめまして、こんにちは。わたしは今年4月から新しく県立千厩病院に転勤してまいりました、救急看護認定看護師のおのでらじゅん 小野寺 淳と申します。

認定看護師ってどんな看護師？

認定看護師は高度化し専門分野化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。わたしは『救急看護』という分野で日本看護協会に認定された看護師になります。

救急看護認定看護師はどんな活動をしている人？

近年、AEDの普及などで市民のみなさんも経験したことがある心肺蘇生法や病院で行われる救急医療の看護実践やスタッフへの指導を行っております。

『急変』という言葉があります。読んで字のごとく『急に病状が変わる』ことをいいます。実はこの『急変』には、前兆があるといわれています。つまり、前兆に気が付くことができれば『急変』を免れることができます。わたしの仕事は、救急車などで病院にくる急病の方への看護のほかに、入院されている患者さんが『急変』されないように、その前兆を早期に気が付き、医師へ報告・相談・提案することができます。入院されている患者さんのそばにいる時間がもっとも長く、この前兆に気が付けるチャンスが一番あるのは、わたしたち看護師です。わたしには入院中の患者さんの安全・安心を護るため看護師の見る目と看護実践を養う使命があります。

絶対的医師不足のなか、断らない診療、地域に根差した病院を目指している当院において『命を護る！』を合言葉に頑張っております。どうぞよろしく申し上げます。

今年の夏まつりは天候が心配されましたが、千厩病院も参加することができました。そこで参加した職員の感想をご紹介します。



第46回

千厩夏まつり

7月28日に開催された千厩夏まつりに今回初めて参加させていただきました。普段の商店街の様子とは異なり、たくさんの方がお祭りに参加し、とても賑わっていました。

私自身、お祭りに踊りで参加することが初めてだったため、緊張していましたが、地域の皆さんの暖かい声援を受けてとても楽しく参加することが出来ました。また、いつもとは異なる形で地域の皆さんと触れ合うことができ、とても新鮮でしたし、今後も地域に貢献できればと思います。

看護科 看護師 阿部 華子



7月28日(土)に千厩夏まつりが開催され、初めて参加させていただきました。たくさんの地域の方々で賑わい、とても充実した時間を過ごし貴重な体験が出来たと感じました。当日は台風の影響もあり雨の心配もありましたが、始まりから終わりまで見事に降らず終えることが出来ました。

一度も踊りの練習に参加できなかったのが踊れるか不安な面もありましたが、皆さんの踊りを見て一緒に楽しく踊り、またプラカード持ちも体験し、気づけば「あれ、もう終わったんだ」という感じでした。

今年初のお祭り気分を味わいとても新鮮で楽しい時間を過ごせて良かったです。また来年も是非参加できれば参加させていただき、少しでも千厩地域に貢献できたらと思います。

看護科 看護師 狩野 周也



「すべての人びとに安らぎと希望を」岩手県立千厩病院

復興と再生へ

~Together As ONE~

再生への願い【若草リボン】

<http://www.senmya-hospital.jp> Email:EA1012@pref.iwate.jp

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会